

アルゼンティン共和国
情報処理研修センター協力事業
巡回指導調査団報告書

1994年10月

国際協力事業団

JICA LIBRARY



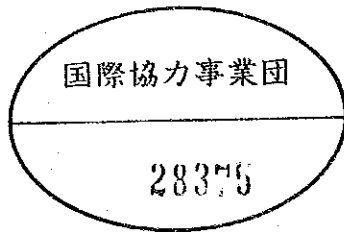
1122069 [6]

28375

アルゼンティン共和国
情報処理研修センター協力事業
巡回指導調査団報告書

1994年10月

国際協力事業団



国際協力事業団

28375

序 文

アルゼンティン国政府は経済自立促進、経済基盤強化及び産業発展と民生の向上の両立を目指し、経済・産業に不可欠である情報処理の促進に力を注いでいる。

その一環としてアルゼンティン国政府は、「情報化の普及」に資するため、科学技術省情報開発局の傘下に「アルゼンティン情報処理研修センター」を設立することを計画し、我が国にプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1988年7月に事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後さらに協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣を経て、1991年12月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行った。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1991年12月13日から5年間にわたり技術協力を実施中である。

プロジェクト開始後、約2年9ヶ月を経過しプロジェクト協力期間の中間点に到達したことを踏まえて、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営についてアルゼンティン側関係者と協議を行い、問題点の協議、残期間の暫定実施計画（TSI）・技術協力計画（TCP）の見直し及び年次計画（Annual Work Plan）を策定し、かつ技術的な指導・助言をすることを主な目的として、1994年9月20日から10月4日まで巡回指導調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査結果をとりまとめたものである。ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日本・アルゼンティン両国の関係各位に対し深甚の謝意を表するとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第である。

1994年10月

国際協力事業団

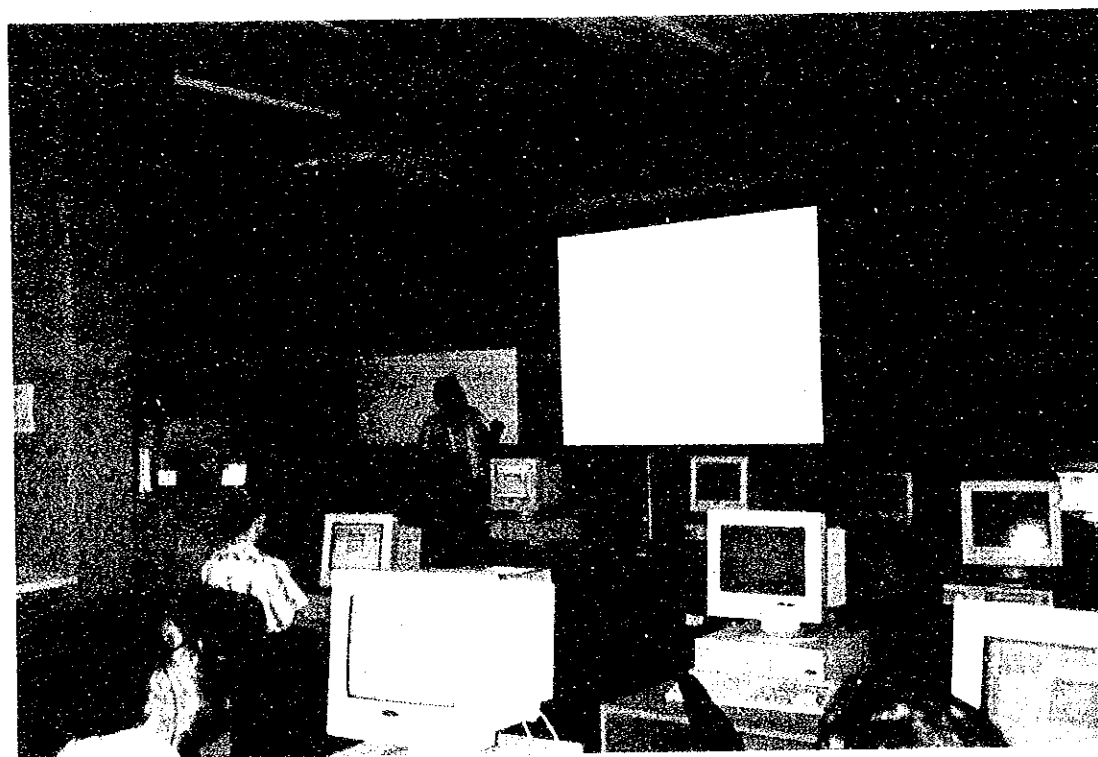
鉱工業開発協力部長

柿 沼 宇 佐

写真



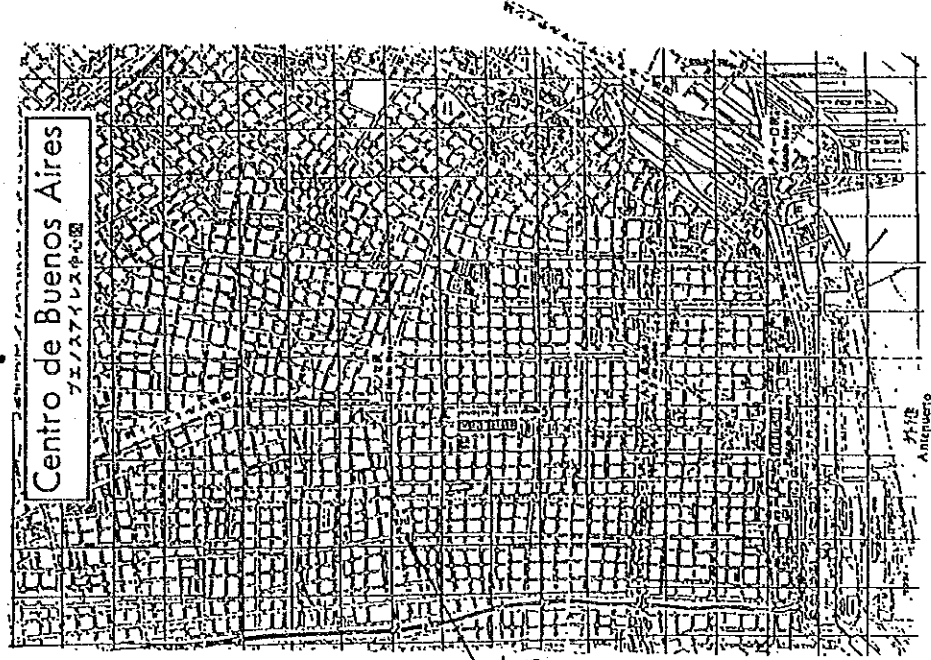
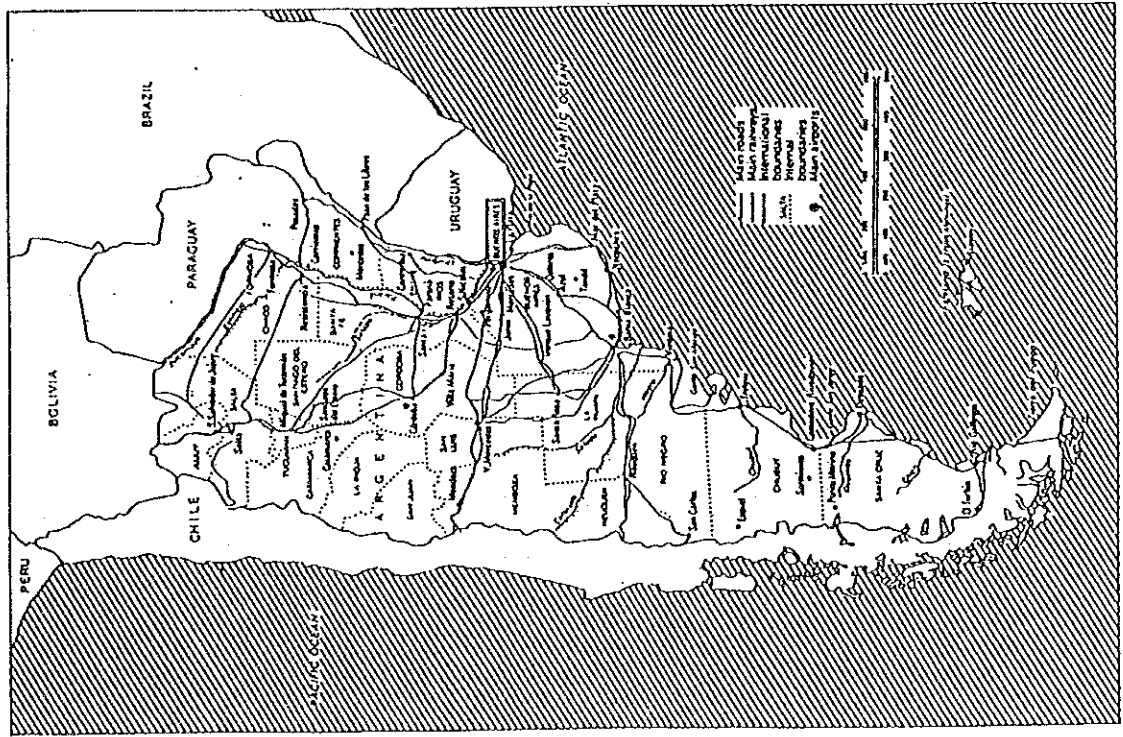
協議議事録署名・捺印



第2回基礎コース開講状況

プロジェクト位置図

アルゼンティン



プロジェクトサイト
情報処理研修センター
INDEPENDENCIA 2625

目 次

序 文
写 真
地 図

1. 調査結果の要約	1
2. 巡回指導調査団派遣	2
2-1 調査団派遣の経緯と目的	2
2-2 調査団の構成	2
2-3 調査日程	3
2-4 主要面談者リスト	3
3. 暫定実施計画（T. S. I.）の進捗状況と次年度計画	5
3-1 日本側	5
(1) 専門家派遣	5
(2) 研修員の受入れ	6
(3) 機材供与	7
3-2 アルゼンティン側	12
(1) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況	12
(2) 機材措置及び維持管理状況	13
(3) 組織、C/P及びスタッフの配置	14
(4) ローカルコスト負担	15
4. 技術協力計画（T. C. P.）の進捗状況と次年度計画	17
4-1 研修コース	17
4-2 開所式	17
5. プロジェクト運営の問題	18
5-1 プロジェクト運営に関する諸問題について	18
5-2 マルチメディアへの対応	18
6. 調査団所見	19
資料1. ミニッツ	21

1. 調査結果の要約

1990年4月のプロジェクト協力開始後、現在までの約2年9ヶ月間に、長期派遣専門家7人及び短期派遣専門家7人の計14人を派遣し、8人の研修員を受け入れた。

専門家派遣及び研修員受け入れについては現在までのところ、1995年度4月に予定されている上級コースのコース内容策定に関連する要望が出され、短期専門家の派遣が遅れているが、研修員受け入れについては概ね計画どおり進展している。

また、機材供与に関しては現在までにサーバー、ワークステーション、プロッター等の機材を中心にC. I. F. で約235,000千円分を購送した。一方、アルゼンティン国側（以下「ア側」という）の本プロジェクトに対する予算額及び本プロジェクトの配置職員数は1994年度8月までの実績累計額として、約614,000ペソ、1994年度9月現在19名（内フルタイムは4名）となっているが、大部分のカウンターパート（以下「C/P」という）がセンター勤務以外の仕事に従事している現状では全員フルタイム勤務の実現は至難の技と考えられる。

研修コースについては基礎コースが4月に第1回目を開講し、10月現在第2回目を開講中である。

上級コースは1995年4月の開講に向けて準備中であり、コース内容の策定等に鋭意努力を図っている。

また、ア側の組織、C/P・スタッフの配置、ローカルコスト負担等に、ア側の種々の事情も相まって一部不十分な点が見受けられたが、本調査団との協議を踏まえ、ア側はその重要性を十分認識して、重要性の高いものは早急に具体的改善措置を取り、諸般事由により止むを得ず計画どおり実施できないものは運用面でカバーすることを確約した。

今後は1995年4月に開講を予定している上級コース及びプロジェクト終了後のセンターの引き渡しに向けて、プロジェクトの組織、体制の整備を図ると共に、技術移転内容を日・ア側双方で協議し、その詳細を決定していく必要がある。

2. 巡回指導調査団派遣

2-1 調査団派遣の経緯と目的

「アルゼンティン情報処理研修センター」に対するプロジェクト方式技術協力要請は、1986年5月にアルゼンティン国政府から日本国政府に対して正式要請された。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1988年7月に事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後さらに協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣を経て、1991年12月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行った。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1991年12月13日から5年間にわたる技術協力が開始され、1994年9月現在、長期、短期あわせて14人の専門家が派遣され技術協力中である。

プロジェクト開始後、約2年9ヶ月を経過しプロジェクト協力期間の中間点に到達したことを踏まえて、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営についてアルゼンティン側関係者と協議を行い、問題点の協議、残期間の暫定実施期間（TSI）・技術協力計画（TCP）の見直し及び年次計画（Annual Work Plan）を策定し、かつ技術的な指導・助言をすることを主な目的として、1994年9月20日から10月4日まで巡回指導調査団を派遣した。

2-2 調査団の構成

	担当分野	氏名	現職
団長	総括	鶴岡 洋一	国際協力事業団国際協力総合研修所国際協力専門員
団員	技術協力計画	松原 浩司	通商産業省機械情報産業局電子機器課技官
団員	研修計画	大橋 正弘	(助)国際情報化協力センター振興部専門職
団員	機材計画	川崎 好文	(助)国際情報化協力センター振興部専門職
団員	運営管理	齋田 裕三	(助)国際情報化協力センター普及部普及課

2-3 調査日程

派遣期間 1994年9月20日～10月4日(15日間)

日 程	調 査 内 容
9/20(火)～ 9/22(木)	移動
9/22(木)	JICA事務所・専門家と打合せ、日本大使館表敬
9/23(金)	日本大使館・外務省・科学技術省情報開発局(SID)・ 国立技術教育審議会(CONET)表敬・サイト視察
9/24(土)	資料整理
9/25(日)	資料整理
9/26(月)	SIDとの協議
9/27(火)	SIDとの協議
9/28(水)	M/D・TSI・TCP案作成
9/29(木)	ミニッツ確認
9/30(金)	署名交換・JICA事務所・日本大使館 報告
10/1(土)～ 10/4(火)	移動

2-4 主要面談者リスト

(1) アルゼンティン共和国側

1. 科学技術庁

Prof. Dr. Domingo Liotta	長官
C. C. Carlos A. Sassali	情報開発担当次官
Lic. Jorge Plano	情報政策局長
Arg. Muslera Enrique	情報処理研修センター長 (CEDECI)
Prof. Jorge Favalaro	CEDECI
Lic. Guillermo Carlos Ziegler	CEDECI
C. C. Ana Maria Piccin	CEDECI
C. C. Norma Rosa Goicoechea	CEDECI

2. 国立技術教育審議会 (CONET)

Marta Pfeffer	教育計画局長
---------------	--------

3. 外務省

Carlos A. Arganaraz

国際協力局二国間協力課長

Dr. Marcela Ricarda Buschi

本プロジェクトの担当者

(2) 日本側

1. 日本大使館

宗内 誠人

参事官

田垣 晃生

一等書記官

2. JICAアルゼンティン事務所

永野 征一

業務第二課長

小田亜紀子

業務第二課

通訳 上江州ルーベン

3. プロジェクト専門家

神嶋 俊博

チーフアドバイザー

臼木 順一

業務調整員

3. 暫定実施計画 (T. S. I.) の進捗状況と次年度計画

3-1 日本側

1991年12月13日に当プロジェクトが開始されてから本調査団派遣迄にはほぼ2年9ヶ月が経過したが、この間に派遣された専門家の派遣分野と人数は以下の通りである(詳細は別添ミニッツ参照)。

(1) 専門家派遣

a) 長期 【実績】 7名

- 1) チーフアドバイザー
神嶋 俊博 92/10/30-94/10/29
- 2) 業務調整員
臼木 順一 92/ 7/31-96/12/15
- 3) オペレーティングシステム
豊永 修 92/12/18-94/12/17
- 4) データベース
佐藤 勝夫 92/10/30-93/ 1/31
本多 安代 93/ 4/28-94/ 8/27
野中 利博 94/ 8/16-96/12/15
- 5) システム分析及び設計
合田ノゾム 92/10/30-94/10/29

b) 短期 【実績】 7名

1992年度 4名

- | | | |
|--------|-------|-------------------|
| 施設 | 中野 文雄 | 93/ 1/22-93/ 2/26 |
| ハードウェア | 塩賀 利徳 | 93/ 2/10-93/ 3/ 1 |
| ソフトウェア | 高安 真弓 | 93/ 2/10-93/ 4/12 |
| ソフトウェア | 國分 圭子 | 93/ 2/10-93/ 4/12 |
- (4名とも、機材据付け、操作指導)

1993年度 2名

- 1)教育情報工学 佐藤 隆博 93/ 8/ 8-93/ 8/18
- 2)PCデータベース 赤司 博美 94/ 4/ 4-94/ 4/16

1994年度 1名

- 1)教育情報工学 佐藤 隆博 94/ 7/11-94/ 7/24

【予定】

1994年度 4名

- 2)C言語及びC++言語 94/10/ -94/10/
- 3)PC用データベース 94/11/ -94/11/
- 4)CASE 95/ 2/ -95/ 2/
- 5)Image Processing 94/10/ -94/10/

・調査結果の留意事項

a) 長期

- (1) 各専門家の業務に対する意欲、熱意は高いが、センターの円滑な運営に必要な予算の未確保、C/P特にトレーニング・セクション・チーフと機材管理者の未専任化、センター設備、備品の未整備に苛立ちを持っている。

b) 短期

- (1) 「C言語及びC++言語」ア側よりマルチメディアにテーマの変更希望があったアドバンス・コースのカリキュラム検討の結果により変更も可能とした。
- (2) 「PC用データベース」内容を「分散型データベースの動向」とすることに合意した。
- (3) 「CASE」
10月研修のC/P研修後、ニーズに合った内容を検討するとした。
- (4) 「Image Processing」タイトルを「マルチメディア」に変更することに合意した。

(2) 研修員の受入 【実績】 8名

1991年度 3名

情報処理

- 1)Mr. Jorge Horacio FABALORO 92/ 3/13-92/ 4/ 7
2)Mr. Jorge Fernando PLANO 92/ 3/13-92/ 4/ 7
3)Mr. Osvaldo CLUA 92/ 3/13-92/ 4/ 7

1992年度 2名

情報処理

- 1)Ms. Monica Liliana SILVESTRI 92/11/19-93/ 4/13
2)Mr. Fernando Alberto CIOCCI 92/11/19-93/ 4/13

1993年度 2名

情報処理

- 1)Mrs. Ana Maria PICCIN de POLLITZER 93/ 5/20-93/ 6/20
2)Miss. Maria de los Angeles MORELLI PINTADO 93/10/10-93/12/ 4

1994年度 1名

- 1)Mrs. Bibiana Delmira ROSSI 94/ 8/25-94/10/29

【予定】 2名

- 2)Mr. Ramon Gracia MUSLERA 94/10/14-94/10/29
3)Mr. Enrique Jorge MUSLERA 95/ 2/ -95/ 2/

・調査結果の留意事項

(1) Mr. Enripue所長の研修

1995年3月近くにマネジメント・コースを設定することとし、本部に持ち帰り検討する
とした。

(3) 機材供与

1992年度【実績】

92/12/10 現地港着

12/16 サイト着

1) ハードウェア主要機材

① サーバー		6台
中央処理装置	NEC Powermate 486/33Te	
磁気ディスク装置	600MB Hard Disk	
イーサネットコントローラ		
磁気テープ装置	150MB SCSI Cartridge Tape	
カラーディスプレイ	Multisync 4FG	
② MT/WANサーバー		1台
中央処理装置	NEC Powermate 486/33Te	
磁気ディスク装置	600MB Hard Disk	
イーサネットコントローラ		
X 2 5 コントローラ		
磁気テープ装置	150MB SCSI Cartridge Tape	
カラーディスプレイ	Multisync 4FG	
③ ワークステーション		40台
中央処理装置	NEC Powermate 486SX/25e 36台 NEC Powermate 486/33e 4台	
	300MB HDD 磁気テープ装置内蔵	
イーサネットコントローラ		
カラーディスプレイ	Multisync 4FG	
マウス		
ディジタイザー		
④ プロッター	Draft Pro DXL	2台
⑤ イメージスキャナー	Color Scanjet IIc	2台
⑥ カラーレーザープリンタ	キヤノン Copier 500	2台
⑦ モノクロレーザープリンタ		4台
⑧ ローカルエリアネットワーク		1式

2) ソフトウェア主要機材

① UNIX (OS)	47台
② DOS MS-DOS Version 5.0	20台
③ UNIX用リレーショナルデータベース	47台
④ DOS用リレーショナルデータベース	20台
⑤ UNIX用C言語	47台
⑥ DOS用C言語	20台
⑦ UNIX用ワードプロセッサ	40台
⑧ DOS用ワードプロセッサ	20台
⑨ UNIXスプレッドシート	40台
⑩ DOSスプレッドシート	20台
⑪ X. 25	1台
⑫ DOS用イメージ処理ソフト	2台
⑬ DOS用グラフィック処理ソフト	2台

3) その他

① 無停電電源装置	7台
② 分電盤	1式
③ コンセント設備工事	1式

1993年度【実績】

現地調達 (100%)

・第1回現地調達

① PC用TVプロジェクターセット	1式
(1) TVプロジェクター (SONY VPH-1271QB)	1台
(2) スクリーン (SONY VPS-120FH)	1台
(3) ビデオデッキ (PANASONIC AG-W1)	1台
(4) モニターテレビ (PANASONIC TC-29V2PX)	1台
(5) スピーカー (SHOW SE-506)	4台
(6) アンプ (TOA A-50)	2台
(7) ワイヤレスアンプ、マイクセット (TOA WT-870)	2台
(8) ケーブルその他	1式
② VTRセット	1式
(1) ビデオデッキ (PANASONIC NV-HD100BR)	1台
(2) モニターテレビ (PANASONIC TC-29V2PX)	1台
(3) ビデオカメラ (PANASONIC NV-M9000EN)	1台
(4) 三脚 (MANFROTTO)	1台

③ OHP機材		1式
(1) OHPプロジェクター (3M 955)	2台	
(2) スクリーン (3M 1.75×1.75)	2台	
(3) OHP交換電球 (ENP 82V.410W)	50個	
(4) CDプロジェクション パネル (3M 4800)	1台	
④ 車両 NISSAN QUEST V6 3000cc		1台
⑤ PC及び周辺機器カバー		1式
・第2回現地調達		
1) ハードウェア主要機材等		
① PC		7式
(1) PC (パワーメイト: NEC製)		
Express II ST 486/66	1台	
Express II ST 486/33	2台	
IMADE 486/33	4台	
(2) メモリ増設キット	7台	
(8MB SIMM Upgrade Module Kit: NEC)		
(3) ネットワークボード	7セット	
(Ethernet Controller Board: NEC)		
(4) モニター (Multisync 4FG: NEC)	7台	
(5) ハードディスク (SCSI 800MB: NEC)	7台	
(6) キーボード (Standard Keyboard)	6台	
(7) マウス	7台	
(8) レールキット (NEC)	7台	
② レーザープリンター (白黒)		3台
③ レーザープリンター用トナー		30個
④ Digitizing tablet		2台
⑤ 3.5inch (2HD) ディスク		500個
⑥ カートリッジテープ		40個
⑦ ペンプロッター		1台
⑧ プロジェクターインターフェイス		1台
⑨ ビデオテープレコーダー		1台
⑩ デジタルコピー機		1台
⑪ イメージスキャナー		1台

2)ソフトウェア

① Unix Ware Application Server	1セット
② X-Windows graphic environment X Vision	20セット
③ PC-network Software PC/TCP and PC-NFS	27セット
④ INFORMIX 4GL Vers. 4.1	3セット
⑤ INFORMIX 4GL RDS	3セット
⑥ INFORMIX 4GL DEBBUGER	3セット
⑦ INFORMIX 4GL RDS for DOS	2セット
⑧ Presentation Software	10セット
Multimedia Tool Book and Multimedia Resource Kit	
⑨ Drawing and Image Retouching SW Corel Draw 4	10セット
⑩ Frame Grabber VS Digitizer card Computer Eyes Pro.	10セット
Color Snap PC Pro, and CAPS, Presentation for Color Snap PC Pro.	
⑪ INFORMIX ESQL/C Runtime	7セット
⑫ INFORMIX NET V. 4.10	7セット
⑬ MS-DOS Version 6.0	7セット
⑭ Microsoft windows 3.1	7セット
⑮ SCO ODT Personal System R3.0	1セット
⑯ SCO ODT 3.0 Open Server 16user	1セット
⑰ Sound Digitizer card MEDIA VISION Pro16 Multimedia System	10セット
・第3回現地調達	
① スピーカー (MA-12C Monitors)	10台
② マイクロフォン	10台

1994年度【実績】

現地調達 (100%)

現地調達分で購入済機材

(第1次分)

① PCインターフェース LOCUS COMPUTING	8台
② アップグレード LOTUS1-2-3 F/Windows	20台
③ アップグレード WORD VER. 6.0	20台
④ アップグレード MS DOS VER 6.0	
DESDE VER. 5.0 O INTERIOR	24台

(第2次分)

① モニターテレビ (PAL)	1台
-----------------	----

②	ビデオデッキ・パナソニック	2台
③	変換器 (PAL B → NN → B)	1台
④	編集機 VIDEONICS	1台
⑤	UPS電源装置・POWERCOM (UPS-400-A)	17台
⑥	コピー機 RICOH (DF-57)	1台

1994年度【予定】

現地調達 (100%)

①	CASEツール	20式
②	CADライブラリー	2式
③	PC	4台
④	高速モデム w/compression	2台
⑤	カラーモニター 21インチ	4台
⑥	CD-ROMドライブ	14台
⑦	CD-ROMネットワーク・ソフトウェア	1台
⑧	タッチ・スクリーン	1台
⑨	サウンド・システム	1式
⑩	バーコード・リーダー、wand type	1台
⑪	バーコード・リーダー、slot badge	1台
⑫	バーコード・プリント・ソフトウェア	1台
⑬	Software for working in group	22台
⑭	コミュニケーション・ソフトウェア	2台
⑮	マグネット・オプティカル・ディスク・カートリッジ	50台
⑯	マグネット・オプティカル・ディスク・ドライブ	6台
⑰	SCSI Device Diagnoser	1台
⑱	デスクトップ・パブリッシングSW	7台
⑲	AntivirusNetwork SW	58台
⑳	Network O. System	2式
㉑	ソフトウェア・アップグレード	32台
㉒	DOS用データベースソフトウェア	6台
㉓	プログラム言語	6台
㉔	OAソフトウェア	7台
㉕	データベースソフトウェア	30台
㉖	FAX/OCRソフトウェア	2台
㉗	CPUアップグレード	53台

⑳	ビデオ・エディタ	1台
㉑	CGMT	50台
㉒	無停電電源装置 (0.4KVA/PC)	17台
㉓	プリンタ	2台
㉔	トナー	15個
㉕	トナー (カラーコピー用)	8個
㉖	OSアップグレード	24台
㉗	MS-Windows 3.1	4台
㉘	DOS用PC Network SW	8台
㉙	CADソフトウェア	3台
㉚	コピー機	1台

・調査結果の留意事項

- ・1992年度及び1993年度供与機材について、利用状況及び維持管理を確認。保管状況も概ね良好。
- ・LLルームAにて開講中の第2回Basic Courseにて機材の有効利用を確認。
- ・故障については1993年度に2件あったのみで、いずれも初期故障であり、ユニット交換にて対応。今後故障が予想される機材は特になし。
- ・1994年度機材購入予定スケジュールについても確認。
- ・StaffルームA/B及びLLルームBの一部では技術移転や教材作成用に機材が使用されている。

3-2 アルゼンティン共和国側

(I) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況

建設施設等は下記のとおり、整備されていることを確認した。

① 建物施設準備状況

(イ) M/D取決め事項

1994年3月末までの

フロア・リノベーション

(残りの144㎡相当分等)

- ・現在のサイトのフロアマップを入手し、施設の現状確認を行った。
- ・3階の図書室などの144㎡はパーティションもでき建物としてはレクチャールームの確保、改修を残すのみとなっている。
- ・1階にセンター独自のトイレの新設工事中
- ・図書室等の机、書架などと1階LLルームBの椅子は未整備

(D) 情報処理研修センター開所式	94. 5. 23	済
(A) 建物施設		
(a) 1階の部屋		
a) 専門家の執務室	93. 1. 15	済
チーフアドバイザー・ルーム及びスタッフ・ルーム		
b) ターミナルルーム (LL room)	92. 12	済
c) 端末室	92. 12	済
d) 小会議室、秘書室、センター長室	92. 12	済
(b) 3階の講義室		
a) 講義室 (Class room)、会議室	93. 8	済
(meeting room) 及び図書室		
b) 講義室 (Lecture room)		未
(144m ²)		
c) 空調、内装、照明、その他環境関係施設		一部未

・調査結果の留意事項

3階の講義室 (Class room) について日本側より図書室等の隣にLecture roomを確保するように要求したところア側より、1994年中にCONETから明け渡され、1995年1月より改修、4月までに改修終了の見込みとの回答を得た (改修スケジュール: ミニッツANNEX-2)。確保できなかった場合、1階のLLルームA、B等をうまく運用して、Advanced Course と Basic Courseを開講することで合意した。

また、日本側専門家から購入要求が出されている備品の購入見込を確認したが、ア国の予算事情で遅れているとのことであった。日本側としては、現在の施設 (部屋) の備品整備を優先して行う事を要求した。

(2) 機材措置・機材維持管理状況物施設等

① 機材措置及び維持管理状況

機材措置及び維持管理状況は下記のとおり実施または実施予定であることを確認した。

1) 機材措置状況

機材保管上のセキュリティ対策として、フロア隔離 (鉄格子、ガラスドア)、窓鉄柵 (1階は廊下に鉄格子あり。3階はなし。) の設置、アラーム設置、夜間警備員の配置措置が取られていた。また、コース未開講のため、実習室の機材はカバーをかけて保管中。

2) 機材維持管理

供与機材のソフト・機器管理のシステムの不備が見受けられたが、センター全体としての管理システムを検討するに至っていない。

(イ) 供与機材の保守

供与機器に係わる保証期間（1993.4.6-1994.4.5）満了にともない以降のメンテナンス費用は基本的にはアルゼンティン側の負担となるが、アルゼンティン側の保守契約予算が確保されていないことから現状では保守に関しては何ら適切な対策は取られていない。保証期間後（1994.4.6以降）の保守についてはア側の責任で費用負担・保守契約を行うべきことが再確認された。

(3) 組織、C/P及びスタッフの配置

C/Pについては以下の通りであることを確認した。

1992年度

【実績】

センター長※	1…週2回、半日
教務顧問	1… ”
C/P	5…半日
計	7

1994年度

【実績】

センター長※	1（フルタイム）
秘書	1（フルタイム）
プロジェクトアドバイザー	1（半日勤務）
技術分野C/P	16（内フルタイム勤務2名）
計	19

可能な限りフルタイム化を要求した。

① M/D取り決め事項

1) C/P、11名の1993年11月1日からのフルタイム勤務

→現時点では全く履行されていない。大部分のC/Pがセンター勤務以外の仕事に従事している現状ではフルタイム勤務の実現は至難の事と考える。

2) 1993年11月よりのセンター所長の専任化（フルタイム勤務）

→1994年2月3日付けでSr. Enriqueが新センター所長に任命されたことにより取り決めは一応履行された。

3) トレーニング・セクション・チーフの専任化（フルタイム勤務）

→アルゼンティン側は当初 Sra. Ana、次に Sra. Normaを指名したが経済的な裏付け（フルタイムとしての予算処理）がつかず実現していない。

② 勤務形態・労働時間

センター長と事務管理はフルタイムとなった。その他は変則的な半日勤務となっている。

③ C/Pの雇用形態は

1. CONICET (科学技術研究審議会)
2. CONET (国立技術教育審議会)
3. センター長

本調査団とア側により1994年10月以降の計画を以下の通りとすることで合意した。

- ・1995年度の保守予算はハードウェアを対象に15,000ペソを申請しており、議会承認あり次第契約する。
- ・セクションチーフについてはア側は重要性を十分に認識していると述べ、来年度以降に配慮する旨回答した。これらは基本的には予算の問題とア国勤務形態の慣習の問題であると考えられる。

(4) ローカルコスト負担

ローカルコスト負担は以下の通りであることを確認した。

1992年度 【実績】

(単位：ペソ)

人件費	36,000
施設改修費	85,000
電気、ガス、電話等	41,000
計	162,000

1993年度 【実績】 (1～8月)

(単位：ペソ)

臨時人件費	18,800
コピー代	200
書籍代	400
電話代	3,000
施設改修費	60,183
警備費	10,400
その他	450
物品購入費	6,119
職員給料	50,833
建物費	8,000
計	158,385

【予定】 (1993年9月～1994年2月)

(単位：ペソ)

掲示板	1,200
消火器	2,100
施設改修費	3,300
警備費	12,000
その他	12,800
物品購入費	48,600
職員給料	56,000
建物費	4,000

計 140,000 合計 298,385ペソ

1993年度実績	
臨時庸役	41,170
コピー	200
事務消耗品	400
電話	3,000
施設補修	60,182.62
警備費	10,400
その他の資産	6,118.8
Expendables	1,150.5
その他のサービス	6,146.99
施設維持費	13,283.3
人件費	97,390.0
建物費	12,000
その他の出費	6,967.71
計	258,949.92

1994年1月～8月実績		1994年9月～12月予定	
謝金	35,031		15,200
人件費	127,796		69,900
事務消耗品	1,041		1,200
外注			6,000
その他のサービス	2,434		
施設維持費	12,500		10,800
施設改修			51,600
		(家具 38,500)	
		(改修 9,000)	
		(その他 4,100)	
その他	14,259		26,100
計	193,061	計	180,800

1995年度要求	
謝金	52,800
人件費	204,600
事務消耗品	17,400
その他のサービス	37,400
機材メンテナンス	15,000
その他	74,800
計	402,000

(ア側提出の資料を次頁に添付)

4. 技術協力計画 (TCP) の進捗状況と年度計画

基礎コースが開講され、技術協力計画の核心である上級コースが1995年4月より開講されることとなっている。

4-1 研修コース

(1) 基礎コース

【実績】	CAD and Tools for Management	94/ 4/25-94/ 7/22
	CAD and Tools for Management	94/ 9/ 1-94/11/30

(イ) M/D取決め事項

- ・ R/D Master Planに基づく1994年9月からのBasic Courseの開始
→ R/Dに基づく本来の基礎コースからア側主体のCAD指向コース(CAD and Tools for Management)に変更実施された。

(2) 上級コース

【予定】	Methodology and tools for systems development (with training on CASE tools)	95/ 4/ -95/ 7/
------	--	----------------

- ・ 上級コースは1995年4月に開始されることが確認された。又、その内容は基本的にはR/Dに沿った形で設定される事が確認された(ミニッツANNEX-7参照)。

4-2 開所式

(イ) M/D取り決め事項

1993年11月のInauguration Ceremony

→1993年11月の開所式開催は不可能であったが半年遅れで1994年5月23日開所式が行われた。

5. プロジェクト運営の問題

5-1 プロジェクト運営に関する諸問題について

(1) 問題解決の要請

プロジェクト運営に関する諸問題については、リオッタ長官と面談し問題解決の要請を行うとともに、書面で解決策を提出した。

本件問題については大使に説明するとともに5月23日に実施された当センターの開所式典に大使が出席の際、大使より長官に対し本件問題解決の要請がなされた。

5-2 マルチメディアへの対応

1993年12月に関係各機関（外務省、通産省を含む）との協議によりベーシックコースにおける日本側の対応は「CAD及びMultimediaは、ア側からの要請があっても本協力では“入り口”のみを取り扱うもので、専門家派遣及び機材も積極的な供与の対象とはしない。」との合意に基づき可能な範囲で協力してきた。

- ・マルチメディア関係の機材の補機についてア側からの要望を持ち帰り、検討することを約束した（ミニッツANNEX-11参照）。
- ・マルチメディアに関する短期専門家を派遣することで、ア側と合意した。

6. 調査団長所感

今回の調査団派遣には以下のような特徴があったと思われる。

- 1) プロジェクトの中間点での巡回調査であった（日本側長期専門家の交替時期等）。
- 2) 電算機に関する環境が急激な変化を遂げつつある次期である。
- 3) ア側担当大臣の死去に伴う新大臣及び新センター長の就任。

上記諸事情に鑑み調査団としては以下の点に注意及び努力をはらいつつ作業を行った。

- 1) ア側担当部門との友好関係維持。
- 2) 電算機環境の変化に伴うア側協力内容変更要求の聞き取り及び調整。
- 3) プロジェクトの次期目標の設定及びその目標実現のプランファイナライズ。

作業結果も詳細は添付ミニッツ及び各省会議資料に記載されている通りであるが、以下の3点が大きな合意内容である。

- 1) 次期重要目標としての“Advanced Course”の位置付け及びコース開講に関するスケジュール（開講時期）の合意並びにア側協力体制の取付け。
- 2) 会議全体及び会食等とおして両国の友好関係維持。
- 3) ア側希望の Multi-Media及びCASE関連の取込みによる電算機環境変化への対応。

この他に私見ではあるが以下の点を記したい。

ア国の特徴についてであるが、今回の滞在及び相手国政府要人との会議を通じて感じたア国及びア国民はヨーロッパに非常に近い性格を持つてると思われる点である。ヨーロッパでも特に、人種構成を見てもごく自然であるが、ラテン系の誇り高い血が感じられた。この点は今後ア国に対する開発援助の遂行にあたり留意に値する特徴と思われるので特に上げた次第である。

以上

資料 1. ミニッツ

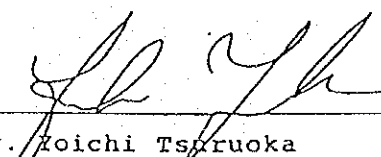
THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE TECHNICAL GUIDANCE TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE ARGENTINE REPUBLIC
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE INFORMATICS TRAINING CENTRE
IN THE ARGENTINE REPUBLIC

The Japanese Technical Guidance Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoichi Tsuruoka, visited the Argentine Republic from September 22 to October 1, 1994 for the purpose of reviewing the activities of the Informatics Training Center Project in the Argentine republic (hereinafter referred to as "the Project" and formulating further operational plans for promotion of the Project.

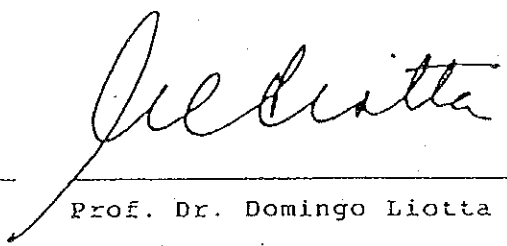
During its stay in the Argentine Republic, the Team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Argentine Republic over the matters for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both parties agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Buenos Aires, September 30, 1994


Mr. Yoichi Tsuruoka
Leader,

Japanese Technical Guidance Team,
Japan International Cooperation
Agency,
Japan


Prof. Dr. Domingo Liotta
Secretary
Secretariat for Science and
Technology,
The Argentine Republic

The attached document

1. Introduction

This paper is to report on the progress of the Project for the period from September 1993 to September 1994.

During this time frame a 'Basic course' was held once in April and the second session is being held presently at the facilities in CEDECI (hereinafter referred to as "the Center"). In addition a seminar was held by Dr. T. Sato at the Center on the subject of 'Informatics'. 2 short-term experts were dispatched and 1 Argentine counterpart was accepted during this time frame.

Undersecretariat of Informatics and Development (hereinafter referred to as "SID") ensured the allocation of necessary budget, counterpart personnel and facilities required for the smooth implementation of the Project in general. The Argentine side also expressed that a special attention will be put on the opening of the 'Advanced Course'.

Thus, based on the common recognition of the present situation of the Project as stated above, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Argentine Governments for further progress of the Project.

2. Allocation of Counterpart Personnel

(1) The Argentine side expressed that 16 counterpart personnel have been working as shown in ANNEX-1.

(2) The Argentine side understood the importance of assigning full-time personnel for training section chief and also understood the importance of putting a comprehensive management procedure to handle inventory related tasks for the Center. The Argentine side also promised to assign a Head of the training section early in 1995 on a full time working base.

3. Budgetary Allocation

(1) The amount expended in 1993 for the Project is 258,949.92 pesos shown in ANNEX-2.

(2) The amount expended from January to August, 1994 for the Project is 193,061 pesos as shown in ANNEX-3.

Budget of 180,800 pesos is secured for the period from September to December, 1994 as shown in ANNEX-4.

Total amount of 373,861 pesos is allocated for the Project from CONICET budget.

(3) As for the budget in 1995, SID requested the amount of 402,000 pesos to the authority concerned as the Project budget as shown in ANNEX-5 and the request is now under consideration at the parliament.

(4) The Argentine side submitted above mentioned formal request form of budget for 1995 to the Japan side. The Argentine side will inform Japan side on the result of this matter as soon as the budget is finalized.

4. Renovation of Facilities

(1) Class room, library, meeting rooms A and B (total 144m²) on the second-floor has been made.

(2) The Argentine side expressed that the space for the lecture room (144m²) next to the class room on the second-floor will be available before April, 1995. Renovation schedule is shown in ANNEX-6

5. Training

Both sides agreed as follows.

(1) Short-Term Expert

Argentine side has requested to change the theme from "C Language and C++ Language" to "Multimedia". Japan side answered that the theme will be changeable depending on the outcome of discussion by Japanese experts and Argentine counterparts.

Contents of "Data base for PC" were decided to be changed to "Trends of distributed data base".

The expert of "CASE" will be assigned to dispatch after receiving the request form assigned and requirement by Argentine side.

(2) Advanced Course

Japanese side confirmed the starting schedule of the advanced course as shown in ANNEX-7.

The advanced course shall be basically developed in accordance with the contents of the MASTER PLAN in R/D signed on December 13, 1991. The Japan side agreed that the contents of the advanced course may differ based on the result of the discussion by the Japanese expert and Argentine counterpart.

6. Annual Work Plan

According to the present state of the Project, both sides agree to formulate ANNUAL WORK PLAN IN JAPANESE FISCAL YEAR OF 1994. Tentative Annual Work plan by Argentine side is attached in ANNEX-8.

7. Equipment

Japan side and the Argentine side agreed the importance of observing regulation regarding copyright.

(1) Japan side and Argentine side confirmed the condition of usage and locations of the hardware and software storage provided in 1993 as shown in ANNEX-9.

(2) Also, Japan side and Argentine side confirmed the equipments purchasing schedule in 1994 as shown in ANNEX-10.

(3) The Argentine side has requested for additional equipment in the area of multimedia which Japan side will consider upon return to Japan refer to ANNEX-11.

(4) Argentine side expressed that the management personnel for equipments will be assigned before the advanced course start.

(5) Maintenance of the Equipment

The Argentine side explained as follows.

As for the budget for maintenance of equipment in 1995FY, the

Argentine side has requested the amount of 15,000 pesos and now the request is under consideration at the parliament. Argentine side will proceed to sign a contract for the maintenance for 1995FY when the budget will be finalized.

Argentine side requested JICA to assist for the fiscal year 1994 as a shortage of budget exist and Japan side has agreed to cooperate upon final approval by JICA HQ.

All details on this matter will be handled by JICA Argentine representative office.

8: Remarks

Text.
This minute is prepared in both English and Spanish. In the case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

JY

ATTENDANTS OF THE MEETING

1. Japanese Side

(1) Technical Guidance Team

Mr. Yoichi Tsuruoka System Analyst,
Development Specialist,
Japan International Cooperation
Agency

Dr. Koji Matsubara Technical Official,
Industrial Electronics Division
Machinery & Information Industries
Bureau,
Ministry of International Trade &
Industry

Mr. Masahiro Ohashi Consultant,
Planning and Coordination Division
Center of the International
Cooperation for Computerization

Mr. Yoshifumi Kawasaki Consultant,
Planning and Coordination Division
Center of the International
Cooperation for Computerization

Mr. Yuzo Saida International Promotion Division
Center of the International
Cooperation for Computerization

(2) Japanese Expert

Mr. Toshihiro Kamishima Chief advisor
Mr. Junichi Usuki Coordinator

(3) JICA Argentine Office

Mr. Seiichi Nagano Director,
Technical Cooperation Division

Ms. Akiko Oda Technical Cooperation Division

2. Argentine Side

(1) Secretariat of Science and Technology

C.C. Carlos A. Sasali Undersecretary, Undersecretariat of
Informatics and Development (SID),
Secretariat for Science and Technology

Lic. Jorge Plano Director, National Direction of
Informatics Policies and Resources,
SID

Arq. Muslera Enrique Director
CEDECI

Prof. Jorge Favaloro CEDECI

Lic. Guillermo Carlos Ziegler CEDECI

C.C. Ana María Piccin CEDECI

C.C. Norma Rosa Goicoechea CEDECI

ult.

LY

PERSONNEL of CEDECI

POSICION ACTUAL		NOMBRE	1993	19
DIRECTOR	100	MUSLERA, Enrique	X	:
SECRETARY	100	VAISMAN, Patricia		:
PROYECT ADVISOR	40	FAVALORO, Jorge	X	:
TRAINING SECTION	(2) 50	PICCIN, Ana María	X	:
	(2) 50	ROSSI, Bibiana	X	:
	(1) 50	MORELLI, M. de los Angeles	X	:
	(1) 45	MARTINEZ, Ramón García	X	:
	(3) 50	GOICOECHEA, Norma	X	:
	(3) 50	TASSANO, Alfredo	X	:
	(3) 50	ZIEGLER, Guillermo	X	:
	(2) 50	BERNANDEZ, Eva	X	:
	(1) 45	CIOCCI, Fernando	X	:
	(5) 50	CRÓTTI, Patricia	X	:
	(2) 55	RODRIGUEZ LEIRADO, Eduardo		:
	(1) 50	CHERVATIN, Alejandro Favio		:
	(3) 50	SOSA MANRIQUE, Enrique		:
	(4) 60	MERLINO, María Ines		:
	(4) 100	DELEON, Javier Alberto		:
	(4) 100	RABUFFETTI, Hernán Pedro		:
BUILDING MAINTENANCE	100	Servicio contratado	X	X
CLEANING	200	Servicio contratado	X	X
SECURITY	300	Servicio contratado	X	X

- (1) DATA BASES
 (2) SYSTEMA ANALYSIS & DISGN
 (3) OPERATING SYSTEMS
 (4) EDITION
 (5) PEDAGOGICAL MANAGEMENT AND PLANNING

Handwritten signature/initials

Handwritten signature/initials

1.1

EXPENDITURE 1991

Temporary workers	41.710,00
Photocopies	200,00
Paper and office materials	400,00
Phone	3.000,00
Building reformation	60.182,62
Security	10.400,00
(- Other goods	6.118,80
Expendables	1.150,50
(- Other services	6.146,99
Building maintenance	13.283,30
Payroll	97.390,00
- Building expenditures	12.000,00
(- Other expenditures	6.967,71
TOTAL	----- 258.949,92

felt.

G. H.

- CEDEC - EXPENDITURE 1993 (values thousands of \$)

DESCRIPTION	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
Payroll	7,5	7,5	7,5	7,5	7,5	11,2	7,5	7,5	7,5	7,5	7,5	11,2	97,39
Building	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12,00
Total	8,5	8,5	8,5	8,5	8,5	12,2	8,5	8,5	8,5	8,5	8,5	12,2	109,39

	29/12/92	50,0	26/03/93	49,55	28/10/93	19,3	25/11/93	30,7	TOTAL
Ingress									149,55
Honoraria		15,7		3,1		12,7		10,0	41,7
Photocopies		0,2							0,2
Office materials		0,4							0,4
Phone		3,0							3,0
Building reformation		20,3		39,80					60,18
Security		10,4							10,4
Other expenditures				0,45		0,52		6,0	6,97
Other Goods				6,12					6,12
Expendables							0,45	0,7	5,15
Services							4,15	2,0	6,15
Maintenance							1,28	12,0	13,28
TOTAL		50,0		49,55		19,3		30,7	149,55

alt.

4.9.

1.2

EXPENDITURE 1994 (JANUARY-AUGUST)

Honorarium	35.031
Payroll	127.796
Paper and office materials	1.041
- Other services	2.434
Maintenance	12.500
- Payroll <i>also expenditure</i>	14.259

TOTAL	193.061

plf

47

- CEDECI - EXPENDITURE 1994 (JANUARY-AUGUST) (values in thousands of \$)

DESCRIPTION	J	F	M	A	M	J	J	A	TOTAL
Payroll	10,3	13,0	17,1	17,2	16,3	21,296	16,3	16,3	127,796
Building	1	1	1	1	1	1	1	1	8,000
TOTAL	11,3	14,0	18,1	18,2	17,3	22,296	17,3	17,3	135,796

						TOTAL	
Ingress	02/02/94	25,000	31/05/94	20,000	01/07/94	15,000	60,000
Honorarium		11,600		14,680		8,751	35,031
Office materials		0,390		0,400		0,251	1,041
Services		1,810				0,621	2,431
Maintenance		3,000		1,380		0,120	4,500
Other expenditures		8,200		2,500		3,559	14,259
TOTAL		25,000		18,960		12,905	57,265

pet

Y. Z

1.3

BUDGET 1994 (SEPTEMBER-DECEMBER)

Honorarium		15.200
Payroll		69.900
Paper and office materials		1.200
External Services		6.000
Printing		
Building maintenance		10.800
— Other expenditures		26.100
Building reformation		51.600
Furniture	38.500	
Reform of 2nd lect room	9.000	
Other	4.100	
TOTAL		180.800

felt

49

1.4

BUDGET 1995

Honorarium	52.800
Payroll	204.600
Paper and office materials	17.400
— Other services	37.400
Equipment maintenance	15.000
— Other expenditures	74.800
TOTAL	402.000

Handwritten signature

Handwritten initials

CRONOGRAMA DE ACONDICIONAMIENTO DEL ESPACIO
FALTANTE EN EL 2° PISO (144M2)

1995	ENERO				FEBRERO				MARZO			
DESOCUPACION DEL LUGAR	■											
LIMPIEZA		■										
PINTURA			■	■								
COLOCACION DE MAMPARAS					■	■						
INSTALACION ELECTRICA							■	■				
INSTALACION TELEFONICA									■			
COLOCACION DE VIDRIOS										■		
COLOCACION DE CORTINAS											■	
DISTRIBUCION DE MUEBLES												■

ult.

4A

ADVANCED COURSE TIME TABLE

ACTIVITY	SEPT.	OCT.	NOV.	DEC.	JAN.	FEB.	MAR.	APR.
Contents definition (curriculum)	██████████	██████						
Contents definition in detail.		██████████	██					
Schedule preparation for teachers.			██████████					
Assignment of curriculum items to teachers.			██					
Contents preparation				██████████	██████████	██████████	██ ██ ██	██ ██
Determ. the duration of each curriculum unit.					██████████	██████████		
Preparation of the teaching material.					██████████	██████████	██████████	██ ██
Preparacion de la practica					██████████	██████████	██████████	██████████
Preparacion del ambiente para el dictado				██████████	██████████	██████████	██	
Preparacion de las herramientas				██████████	██████████	██████████	██	
Preparation activities to print materials					██	██████████	██████████	██

pet.

4.7

THE ADVANCED COURSE

Tentative Name:

Methodologies and tools for systems development (with training o. CASE tools).

Beginning: April 17, 1995

Oriented to:

People working in small and medium enterprises as Systems Analyst with four or more years of experience, graduated from systems careers or with equivalent knowledge.

Goals:

To provide the participants with methods and tools for systems development optimization.

To train in structured systems analysis and design methodologies.

To train in CASE tools application and operation.

To provide methodologies and tools to define, develop and manage software design projects.

felt.

Y. Z

5

PLAN DE TRABAJO 1994 (TENTATIVO)

29/09/9

ARTICULO	CONTENIDO	Abr.	May.	Jun.	Jul.	Ago.	Sep.	Oct.	Nov.	Dic.	Ene.	Feb.	Ma
Objetivos	1. Asesorar función, organización y coordinación al Centro.												
	2. Transferir Técnico y Metodología								Joint Committee				
	3. Perfeccionar sumario del plan de estudio para "CURSO BASICO"	25			22		1		CURSO BASICO	30			
	4. Desarrollar sumario del plan de estudio para "CURSO AVANZADO"												
	5. Asesorar desarrollo de los materiales				11-23					1-15			
	6. Celebrar Seminario				One-day Seminar					Work Shop			
MISSION										Mision			
EXPERTOS	PR 1) - (Asesor Principal)												
	AZ 2) J. Usuki (Coordinador)			T. Komishiro									
	O 3) H. Gada (Análisis de Sistema)												
	LA 4) (Bases de Datos)			Y. Honda									
	RG 5) O. Toyonaga (Sistema Operativo)									T. Nomaka			
	O 6)												
	O 7)												
PR 1) (Idioma C y Idioma C++)													
AZ 2) (Bases de Datos para PC 4R)													
O 3) (Educational Information Technology 2R)													
CO 4) (CASE 4R)													
HT 5) (Multimedia 2R)													
O 6)													
DECLARO	1) Sr. Enrique MULEBA (OBSERVACION Individual) 2R) 2) Sr. Ramon Garcia Martinez (CASE Individual) 1R) 3) Sr. Bibiano ROSSI (DP Division Manager) 01C) 2R)						25 (01C)		24				

[Handwritten signature]

2-2-1. Hardware Provided in 1993FY 1/2

Equipmentos	Qua.
Unidad de color extra	1
Funda para pizarron	1
Vibrador- Acomodador de papel	1
Multisync 4FGe	7
Duplicadora Digital RISSO RC-5600D	1
Modulos 8 Mb SIMM Upgrade Kit	7
PHOTOCOPIER	1
Equipo NEC IMAGE 486/33	4
Tintas color (1000 c.c.)	5
Equipos NEC Express II ST 486/33	2
Rollos master B4	3
Fundas para SERVER	6
Toner para OKI OL830	25
CD-ROM 3xI	6
Toner para NEC 1097	5
Equipo NEC Express II 486/66	1
Diskettes 3,5"2HD (cajas de 10)	50
MICROFONOS	10
Tape 3M DC6250	40
Microfono inalambrico,marca TOA	2
Lamparas EVD Marca 3 M	30
Cable de interconecion,marca SONY	1
Lamparas ENP 82V. 410W	20
Speaker System,marca Show	4
VEHICULO	1
Soporte p/proyector VPH-127QM	1
Kurta XLP 12x18 para DOS	2
Interface Board p/VHP-1271QM	1
Terminadores T para RG58	7
Soporte p/proyector,marca SONY	1
Fundas para Tablero	2
Computer Interface RC-5600	1
CASSETTES DE VIDEO	226
Tintas negras (1000 c.c.)	10
Tripode,marca Manfrontto	1
Placas SMC 8003 EB 16 bits	7
Videocamara,Panasonic,S-VHS	1
Fundas para fotocopiadora CANON	2
Video Blaster	2
Laser Printer NEC 1097 10PPM postscript	3

002:

45

2-2-1. Hardware Provided in 1993FY 2/2

Equipmentos	Qua.
Videocasetera, Panasonic VHS, HI FI multin.	1
Fundas para monitor-CPU-teclado	53
Videocasetera, Panasonic, Stereo, Trinorma	1
Pantalla plana se 120", marca Sony	1
Videocasetera Panasonic	1
Plaqueta de interface para PC-1270	1
Speaker (JUEGOS DE BAFLES)	2
Cable de interconecion, marca SONY	1
Proyector Modelo 9550, marca 3M	2
Intercaladora Duplo DC-8	1
Pantalla con tripode, marca 3M	2
Disco fijo SCSI 800Mb	7
LCD Marca 3M, Modelo 4800	1
Terminadores Red para RG58	7
Pen Plotter	1
Proyector color marca SONY	1
Image Scanner (color)	1
Amplificador, marca TOA	2
Fundas para SCANNER	2
Fundas para PLOTTER	2
Funda para M4	1
Switcher p/VPH-127QM, marca SONY	1
Televisor multinorma, Panasonic	2
Standard keyboard	7
Fundas para impresora OKIDATA	4

Net-

2-3-1. Software Provided in 1993FY

Equipments	Qua.
MS ACCESS VER.1.1 INGLES FOR WINDOWS	6
INFORMIX STAR P/UNIXWARW 8 USERS	2
Corel Draw VER.4.0	2
PC Interface PLUS for DOS from LOCUS	21
UNIXWARE APPLICATION SERVER	1
MULTIVIEW DESKTOP/X VER.3.1.5 10 USERS	2
ACTION!for Business presentaions	20
SCO ODT OPEN SERVER 16 USERS	1
INFORMIX ON LINE P/UNIXWARE 8 USERS	2
SCO ODT PERSONAL SYSTEM R.3.0	5
INFORMIX 4GL RDS 8 USER	3
LOTUS 1-2-3 VER.4.0 FOR WINDOWS INGLES	6
SCO ODT Personal System R.3.0	1
INFORMIX DBA VER.1.0	1
includes INFORMIX NET PC VER.4.1.	1
MS WORD VER.6.0 FOR WINDOWS INGLES	6
INFORMIX NET RUNTIME FOR MONOPROCESSOR	5
Media Vision PRO 16 MULTIMEDIA	20
INFORMIX HYPERSCRIPT DEVELOP.FOR WINDOWS	1
INFORMIX 4GL RDS 8 USERS	3
INFORMIX ESQL/C RUNTIME 8 USERS	5
INFORMIX 4GL DEBBUGER 8 USUARIOS	3
INFORMIX SQL RUNTIME VER.4.1 FOR DOS	5
INFORMIX VIEWPOINT FOR WINDOWS	1
INFORMIX 4GL RDS for DOS	2
MS DOS Ver.6.0	7
MICROSOFT WINDOWS 3.1	7

Net

44

2-2-3 Hardware plan in 1994 FY

Equipments	Qty.
ODP DX2/66 for 486DX/33 CPU Socket	11
ODP DX2/50 for 486SX/25 Copro. Socket	36
ODP DX2/66 for ZIF Socket	6
NEC 6FG	4
PowerMate 466D(420MB HDD)	3
Image 466m (420MB HDD)	1
16MB SIMM Upgrade Kit	4
SMC Elite 16	4
Terminator	5
T Type Connector	10
for Color Copier	8
for NEC 1097	15
NEC 1097	2
DC6250	50
Intel Satisfaxion 400 External	2
UPS-400-A	17
Card Reader SR-10 Videx	4
Videx Durawand	4
Recharger for Durawand	4
Video Editor	1
Magnet Optical Disk Cartridge	21
Magnet Optical Disk Drive	2
RICHO FT-4220	1

Handwritten signature

Handwritten mark

2-3-3 Software plan in 1994 FY

Equipments	Qty.
CASE Tools Win/DOS	20*
CC:Mail Platform for OS/2	1
CC:Mail 50 User License Pack	1
Upgrade Lotus 1-2-3 for Win 4.0	20
Upgrade Word for Win 6.0	20
Notes Client	4
PC-Interface Plus	4
Word for Win 6.0	4
PC-Interface Plus	8
MS-Windows & MS-DOS 6.2	4
MS-DOS 6.2 Upgrade	24
Windows for Workgroups	2
MS-DOS 6.2	2
Asymetrix Tool Book	25
Spanish Checker for Word 6.0	37
Lotus Notes for Windows 20 Clients	2
Procam Plus 2.0 for Win	2
Intel Faxability Plus/OCR SW	2
PageMaker	2
Designer 5.0	2
Label Right	4
Visual Basic for Win Professional	3
Visual C++ for Win Professional	3
FoxPro for Windows	3
dBASE for Windows	3
3D Studio	2

* The specification has not been fixed yet.

MLT

4/14

MULTIMEDIA EQUIPMENT LIST

1	CD Writer	1	JVC o Alchemy (TMR)	
2	Sound System	1	MS-Windows Sound System	
3	Touch Screen	20	Like Accutouch	
4	CD ROM Drive	14	NEC 3Xi or NEC 3Xe	
5	CD-ROM Net. SW	1	Lan CD (Logicraft)	
6	CAD Software	2	3D-Studio (Autodesk)	
7	CAD Libraries	2	Sistema M2 ARQ / CADPlus Total AE System	

felt

41

JICA